



保健だより

安全対策で子どもの事故予防 家庭の中にも危険がいっぱい!

子どもは、大人が思いもよらない行動をとるものです。大人とは目線や手の届く高さが違うことを考え、子どもの目線で安全な環境を整えましょう。

<成長の時期と注意したい事故>

●寝返り前(～4か月頃)

顔や手足は動かせるが、寝返りなど姿勢は変えられない。
赤ちゃんを寝かせたまま目を離しているうちに事故が起こりやすい。

- ・食べ物や吐いた物による窒息
- ・ふかふかの布団やうつぶせ寝での窒息
- ・低温やけど(ホットカーペットなど)
- ・入浴中におぼれる
- ・熱いミルクでのやけど



●寝返りができる頃(4～6か月頃)

身近にある物を触ったり口に入れるようになる。
寝返りをしながら移動することができる。
何が危険か分からず、まわりのものにぶつかることが多い。

- ・小さな物の誤飲
- ・ベッドやソファからの転落
- ・まわりの物にぶつかる

●おすわり・はいはい・つかまり立ちができる頃(7～11か月頃)

手が自由に使えるため、扉や箱を開けて物を口に入れる。
高いところには上れるが、下りることはできない。
危険な物の判断ができず、言葉で言っても分からない。

- ・階段や椅子からの転落
- ・浴槽や洗濯機でのおぼれ
- ・小さな物の誤飲
- ・暖房器具でのやけど

●立ち歩きができる頃(1～2歳頃)

戸外での活動が活発になり、手先も器用に動くが、体のバランスをうまくつかめず、まわりの危険を察知する能力もまだ低い。
大人の真似をしたがり、なんでも自分でやってみたくなる。

- ・ひとり歩きによる交通事故
- ・ドアに指をはさむ
- ・化粧品や薬の誤飲
- ・刃物によるけが



子ども達にとって安全と考えられている家の中で、多くの事故が起きています。 家の中の安全を見直しましょう。

<リビング>

リビングは生活の中心地です。様々な生活用品がおりてあり、家事をしながら子どもを遊ばせることも多いでしょう。子どもの安全を考えた整理整頓を心がけましょう。

- ・クリップやコイン、マッチやライター、ボタン電池、薬などの小物は置かない。
- ・口や鼻に入ってしまうような小さいおもちゃは与えない
- ・ストーブやファンヒーターは安全柵で囲う
- ・コンセントにはカバーをする
- ・テレビ台の扉やDVDの挿入口はカバーをし、子どもの指が入らないようにする

<台所>

危険な調理器具や熱い物が多くあります。子どもが1人で入れない工夫をしましょう。

- ・フライパンや鍋の取っ手は、子どもが触れない方向に向ける
- ・熱い飲み物はテーブルの中央に置き、子どもの手が届かないようにする
- ・ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置く
- ・テーブルクロスは使用しない
- ・スーパーの袋、ラップ、洗剤等は子どもの手の届かないところに片付ける

<浴室・洗面所>

水回りは思わぬ水難事故が起きやすいので要注意。

- ・子どもがひとりで浴室に入れないように鍵をかける
- ・入浴後は、浴槽の湯は抜いておく
- ・椅子は浴槽のそばに置かない
- ・洗剤、化粧品などは手の届かないところに片付ける
- ・ドライヤーはコンセントを抜き片付ける
- ・洗濯機には水をためておかない

<トイレ>

- ・便器でのおぼれに注意し、使用しないときは閉めておく
- ・洗剤や芳香剤は子どもの手の届かないところに片付ける
- ・内鍵を勝手にかけないよう注意する

<ベランダ>

- ・踏み台になるようなものを置かない
- ・柵の高さは110cm以上にし、足をかけて登れないようにする
- ・子どもがひとりで出入りできないようにする

お問い合わせ/健康推進課(☎63・3801)

「地域カフェ」を

開催します!

みなさんで、お茶を飲みながら、
楽しい時間を過ごしませんか?

日 時 12月18日(水)

13時30分～15時30分

場 所 萩原集会所 2階

(日高町萩原768番地の1)

参加費 100円

メニュー ○コーヒー

○紅茶

○日本茶

「サンフルひだか」のパンの販売
を予定しています!

対 象 日高町内にお住まいの方

お問い合わせ

地域包括支援センター

(☎63・3801)

